

北神・三田地域の急性期医療の確保に
関する検討委員会

報告書

～資料編～

令和4年3月

目次

1. 北神・三田地域の概況	2
2. 済生会兵庫県病院の現状	7
3. 三田市民病院の現状	13
4. 新生物・脳卒中・心疾患および政策的医療への対応	19
5. 再編統合を行うにあたり検討が必要な項目	30

1. 北神・三田地域の概況

(1) 北神・三田地域の地理的特徴

図 1-1 北神・三田地域の地理的特徴



地図：Google Earth

(2) 人口動態

図 1-2 北神地域の推計人口

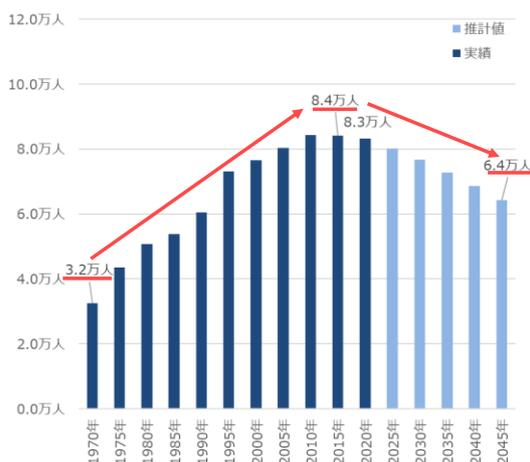


図 1-3 三田市の推計人口



出所：兵庫県庁「人口データ分析ワークシート」 神戸市役所「国勢調査による町別、年齢別人口及び世帯数」および令和2年度国勢調査速報値 国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より作成

図 1-4 北神地域の推計人口

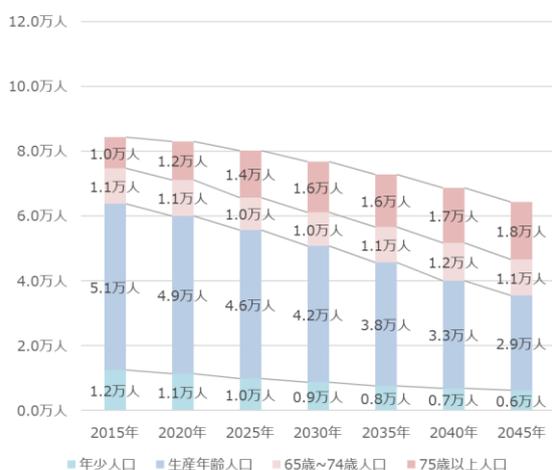


図 1-5 三田市の推計人口

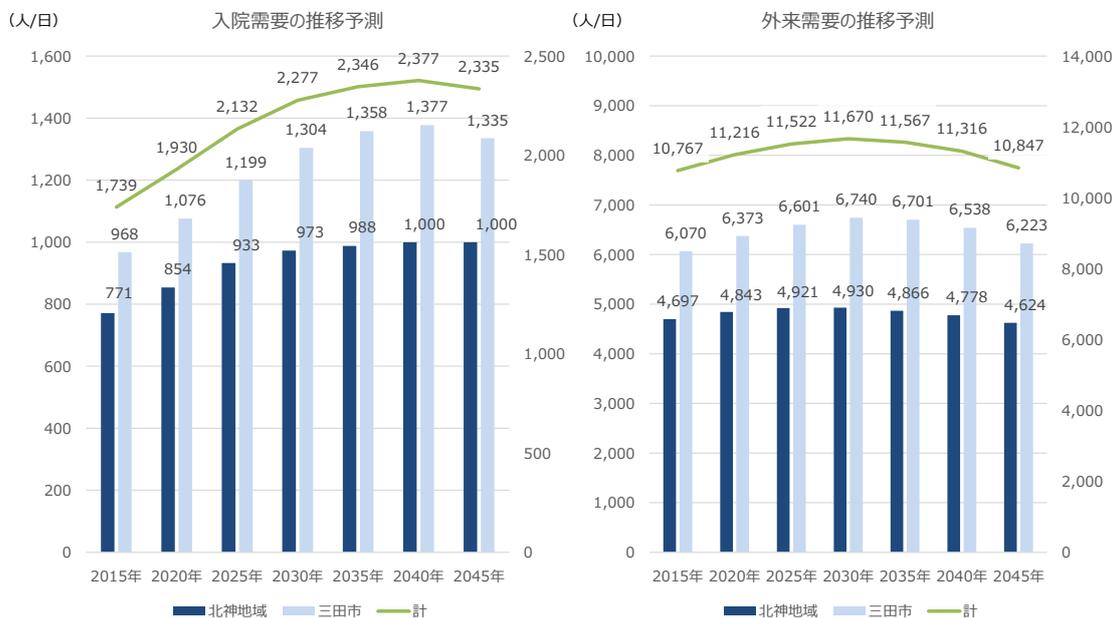


出所：神戸市役所「国勢調査による町別、年齢別人口及び世帯数」および令和2年度国勢調査速報値 国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より作成

(3) 受療動向

図 1-6 推計1日患者数

※右軸：両地域の推計患者数計



出所：厚生労働省「平成29年患者調査兵庫県性・年齢5歳別受療率」 国立社会保障人口問題研究所「地域別将来推計人口」神戸市役所「国勢調査による町別、年齢別人口及び世帯数」より推計

図 1-7 種類別の医療需要の推移予測
(北神・三田地域計)

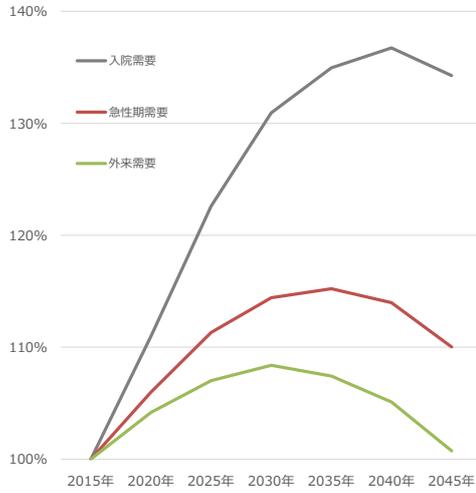


図 1-8 疾患別の入院需要推計
(北神・三田地域計)

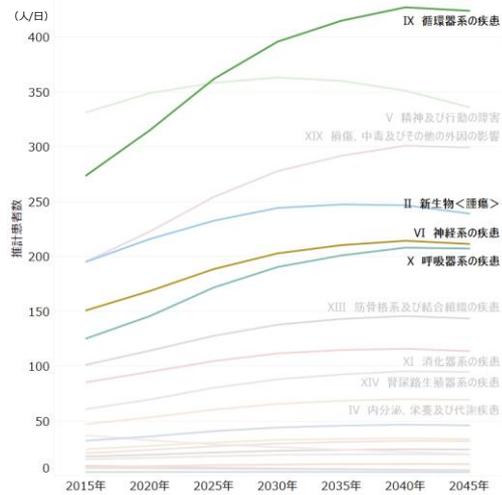
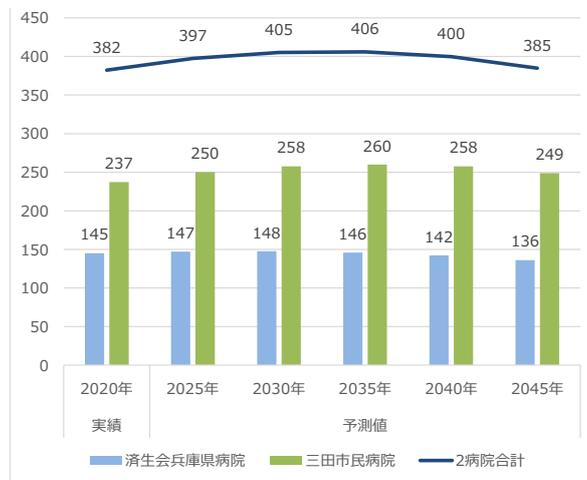


表 1-1 北神・三田地域の推計 1 日患者数 (急性期患者)
(単位：人／日)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
消化器系疾患 肝臓・胆道・膵臓疾患	101	108	112	114	113	109
呼吸器系疾患	61	68	73	76	77	76
循環器系疾患	50	55	59	61	62	61
神経系疾患	43	47	49	50	50	48
その他計	212	221	226	227	224	216
新生物 (再掲)	111	116	120	120	116	114
合計	467	499	519	527	526	510

図 1-9 済生会兵庫県病院と三田市民の推計 1 日平均入院患者数 (うち急性期)



出所：厚生労働省「令和元年度 DPC 導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果」 総務省統計局「令和元年 10 月時点年齢別人口」 国立社会保障人口問題研究所「地域別将来推計人口」 神戸市役所「国勢調査による町別、年齢別人口及び世帯数」より推計

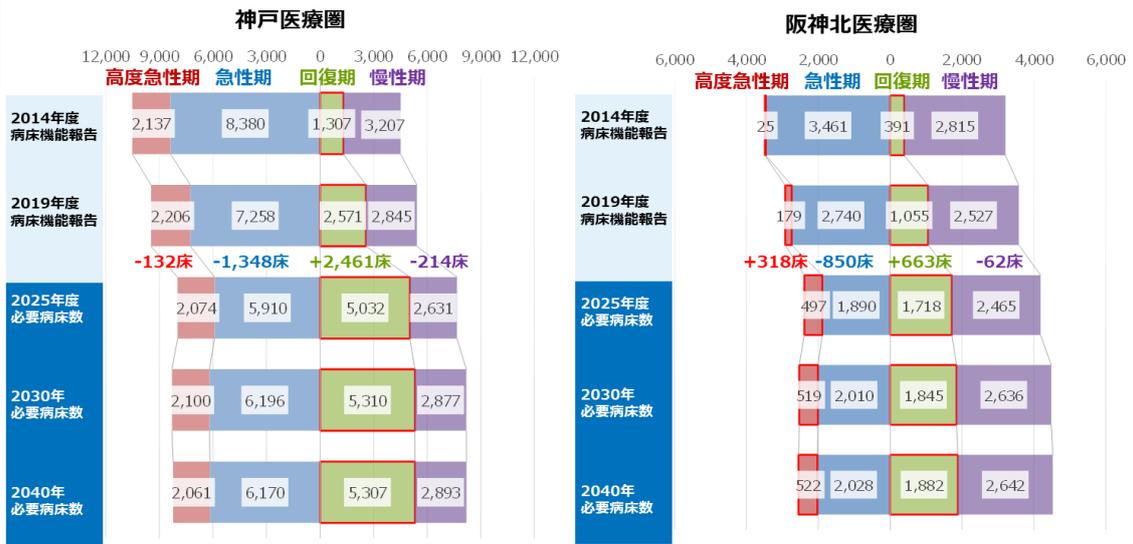
(4) 医療提供体制

表 1-2 保健医療計画において圏域を越えた連携体制が推進されているもの

2次保健医療圏域		神戸圏域	阪神圏域			
5 疾病	がん	神戸	阪神北		阪神南	
	脳卒中	神戸	阪神北・丹波		阪神南	
	心筋梗塞	神戸	阪神北・丹波		阪神南	
	糖尿病	神戸	阪神北		阪神南	
	精神	精神科初期救急	神戸	阪神		
	精神科2次救急	神戸・阪神				
5 事業	救急	2次救急（地域）	神戸	三田	阪神北	阪神南
		3次救急（圏域）	神戸	阪神		
	小児	2次小児救急	神戸	三田	阪神北	阪神南
		小児医療連携圏域	神戸・三田		阪神北	阪神南
	周産期	神戸・三田		阪神		
	災害	神戸	阪神北		阪神南	
へき地						

出所：兵庫県保健医療計画（令和3年中間見直し）

図 1-10 機能別必要病床数の状況



出所：2019年機能別病床数：2019年度病床機能報告
 その他の機能別病床数：兵庫県地域医療構想 第三章 将来の人口、医療需要と病床数の推計
 将来必要病床数は「都道府県間、圏域間の患者流動を反映した場合の推計」を使用

表 1-3 北神・三田地域に所在する医療機関

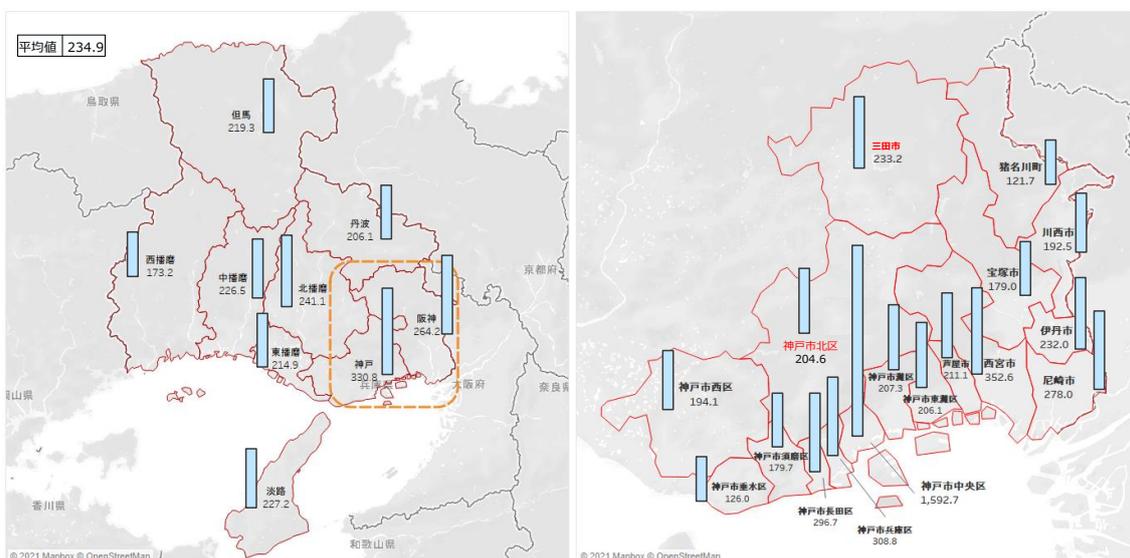
医療機関名	地域	稼働病床数 (床)				総計	医療従事者数 (人)				救急受入件数 (件)	手術件数※ (件)
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期		医師	看護職員	助産師	その他医療技術職		
三田市民病院	三田	7	293			300	72.8	303.5	21.4	76.7	3,314	1,420
済生会兵庫県病院	北神	9	213	46		268	51.1	215.7	28.6	58.6	1,502	531
神戸アドベント病院	北神	4	80	32		116	18.2	115.0	14.6	27.9	729	332
医療法人社団尚仁会 平島病院	三田		55		102	157	29.1	75.0	0.0	40.0	104	57
恒生病院	北神	54		50		104 ※	14.0	82.2	0.0	71.4	1,116	146
独立行政法人国立病院機構兵庫中央病院	三田		49		349	398	30.4	325.7	0.0	63.5	106	107
医療法人甲北会 甲北病院	北神		20		48	68	6.5	32.6	0.0	9.2	19	11
恒生かこ病院	北神			55		55	5.6	28.5	0.0	37.9 ※	0	0
さんだりハビリテーション病院	三田			60	9	69	4.7	41.3	0.0	53.3	0	0
医療法人甲風会有馬温泉病院	北神			35	269	304	17.0	95.2	0.0	53.7	0	0
医療法人敬愛会 三田高原病院	三田				360	360	8.7	95.8	0.0	18.4	0	0
医療法人敬愛会 三田温泉病院	三田				180	180	6.5	54.4	0.0	9.6	0	0
有泉病院	北神				60	60	3.3	17.1	0.0	3.4	0	0
ありまこげんホスピタル	北神				49	49	16.4	149.4	0.0	29.7	17	0

※は病床機能報告2020にデータがないため、病床機能報告2019より抜粋

出所：病床機能報告 2020 より作成 (一部病床機能報告 2019 より抜粋)

注意：病床機能報告における機能別病床数には精神病床、結核病床、感染症病床は含まれないため、実存する許可病床及び医療機関でも表示されていないものがある。

図 1-11 人口あたり医師数



出所：厚生労働省 H30「医師・歯科医師・薬剤師調査」、兵庫県 HP「地域別人口関連時系列データ」より作成

2. 済生会兵庫県病院の現状

(1) 済生会兵庫県病院の概要

表 2-1 済生会兵庫県病院の概要

名称	社会福祉法人恩賜財団済生会兵庫県病院
住所	神戸市北区藤原台中町5丁目1番地1
病床数	268床(うちHCU8床、NICU9床、地域包括ケア病棟46床)
診療科目・部門	内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、呼吸器外科、小児科、外科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、歯科口腔外科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、眼科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、アレルギー科、リウマチ科(21診療科)
職員数	403名(R3.4.1現在)
当院のミッション	①施薬救療(せやくきゅうりょう) →生活困窮者を助ける「施薬救療」が組織(済生会)の根本ミッション ②北神地区の医療機能を支える役割を果たす →当院は人口が急増していた北神ニュータウンの住民の健康・福祉の増進に貢献するために、平成3年12月に神戸市北区藤原台に移転
基本理念	信頼・安心の医療の提供
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者の立場に立った医療、患者の満足する医療を追求する。 ・ 地域中核病院として分担すべき役割や機能を明確にし、連携を通して地域医療に貢献する。 ・ チーム医療を推進し、医療の質を向上する。 ・ 予防からリハ、社会復帰までの全人的な包括医療を推進する。 ・ 職員各自互いを尊重し、切磋琢磨して、「誇りの持てる職場づくり」に努める。 ・ 医療を通じて社会に貢献する。

図 2-1 済生会兵庫県病院の外観



表 2-2 済生会兵庫県病院の沿革

年月	概要
大正 8 年 5 月	兵庫県済生会診療所を神戸市葺合区（現中央区）に開設
大正 10 年 8 月	恩賜財団済生会兵庫県病院と改称
昭和 27 年 5 月	社会福祉法人恩賜財団済生会兵庫県病院と改称
平成 3 年 12 月	現在の場所に新築移転(279 床)
平成 8 年 10 月	新生児特定集中治療室認定(6 床)
平成 13 年 8 月	地域周産期母子医療センター認定
平成 17 年 10 月	新生児特定集中治療室増床(9 床)
平成 25 年 1 月	兵庫県がん診療連携拠点病院に準じる病院認定
平成 25 年 11 月	地域周産期母子医療センターリニューアル
平成 26 年 9 月	病棟改修工事竣工(268 床)
平成 28 年 7 月	地域医療支援病院承認
平成 30 年 3 月	基幹型臨床研修病院指定
令和 2 年 5 月	病床再編地域包括ケア病棟（46 床）

(2) 済生会兵庫県病院の入院患者・外来患者の居住地

図 2-2 入院患者居住地の内訳

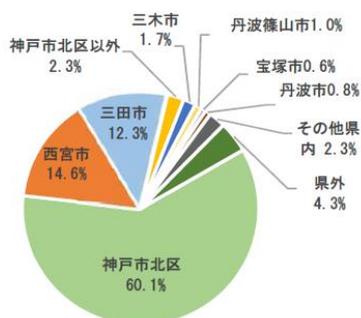


図 2-3 市域別入院患者数

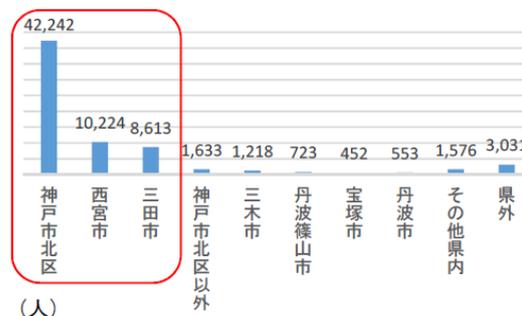


図 2-4 外来患者居住地の内訳

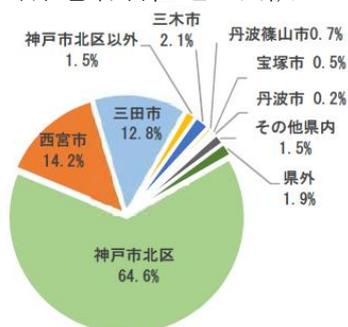


図 2-5 市域別外来患者数



(3) 済生会兵庫県病院の経営状況と主な指標の推移

図 2-6 当期純利益の推移

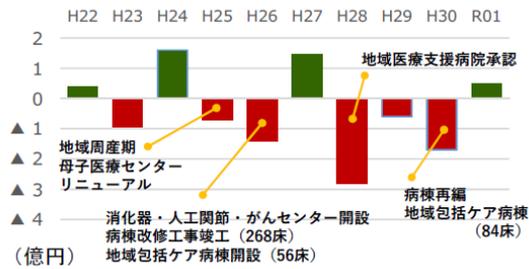


図 2-7 収益と費用の推移



図 2-8 地域周産期母子医療センターの収支状況

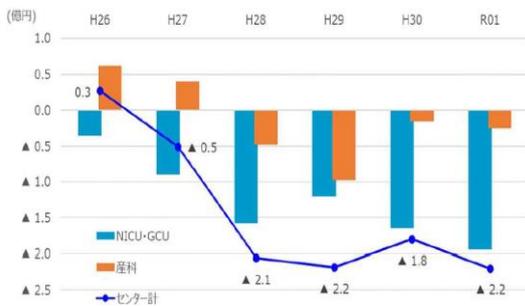


図 2-9 長期借入金の状況



図 2-10 入院単価の推移

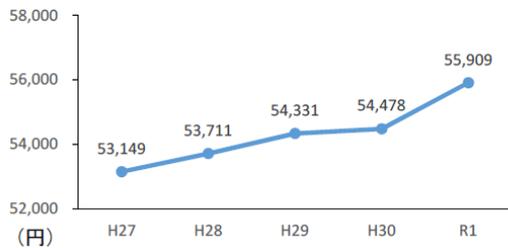


図 2-11 外来単価の推移

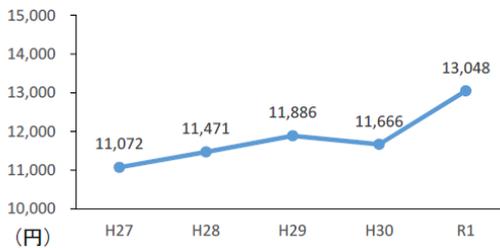


図 2-12 新入院患者数の推移

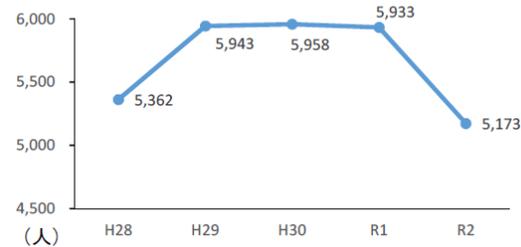


図 2-13 延べ入院患者数の推移

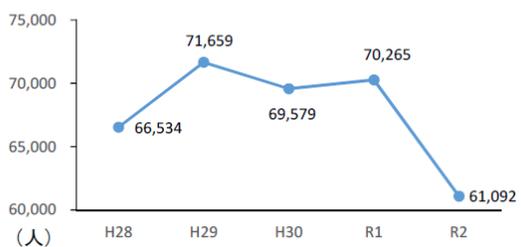


図 2-14 病床利用率の推移

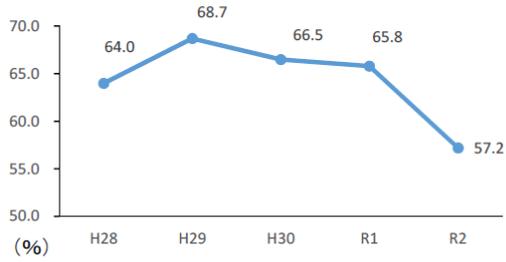


図 2-15 平均在院日数の推移

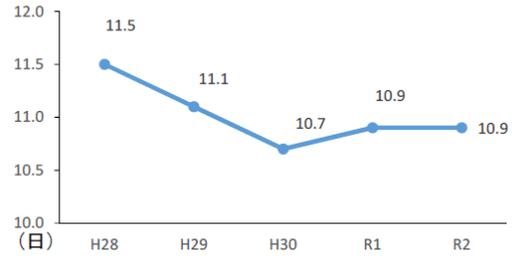


図 2-16 外来初診患者数の推移

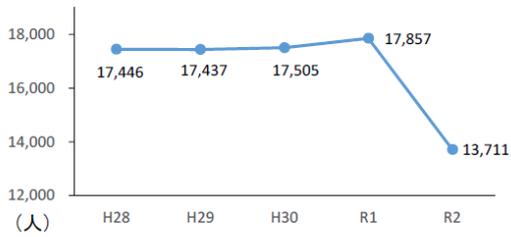


図 2-17 延外来患者数の推移

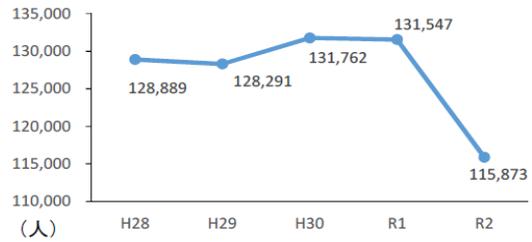


図 2-18 紹介率の推移

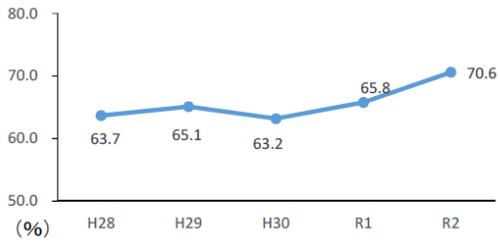


図 2-19 逆紹介率の推移

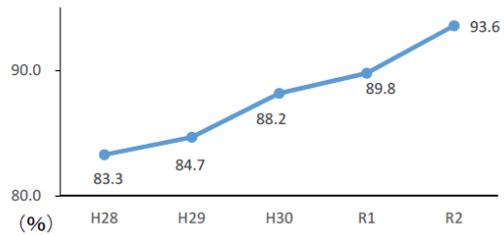


図 2-20 救急患者延数の推移

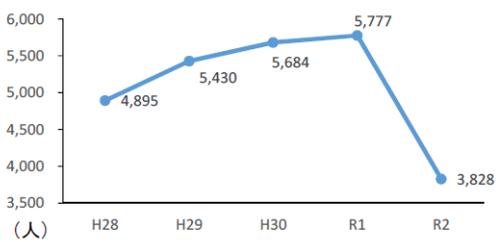


図 2-21 救急車搬送受入件数の推移

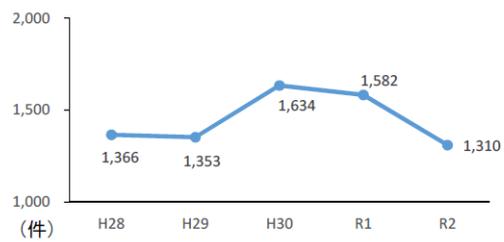


図 2-22 救急車応需率の推移

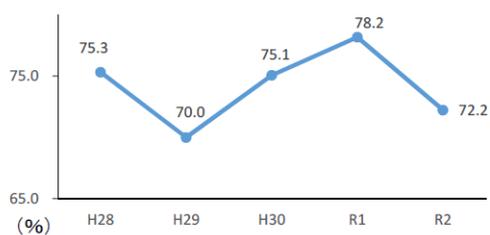


図 2-23 手術件数の推移

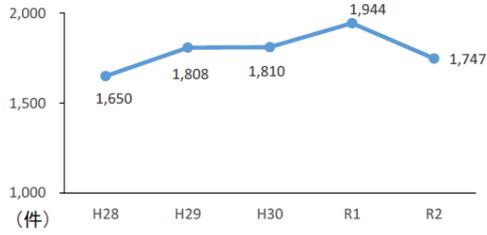


図 2-24 分娩件数の推移



図 2-25 医師数の推移

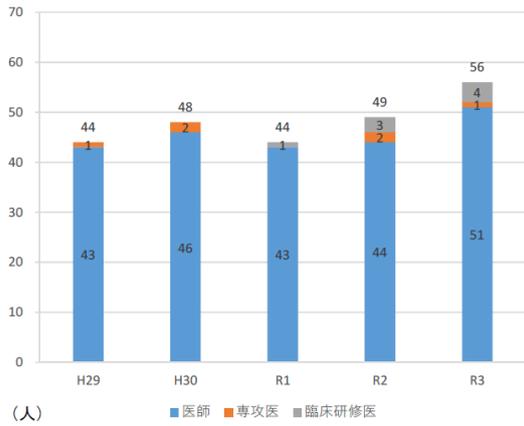
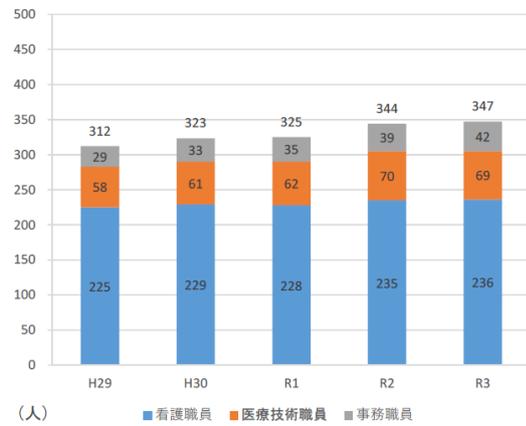


図 2-26 職員数（医師以外）の推移



※医師数、職員数は各年度 4 月 1 日現在の数値。非常勤職員は含まない。

(4) 済生会兵庫県病院の政策医療における役割

表 2-3 5 疾病 5 事業等への対応

5 疾病		5 事業	
がん	<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院に準じる病院 がんセンターを設置 消化器センターを設置 内視鏡センターを設置 	救急医療	<ul style="list-style-type: none"> 救急告示病院 2次救急の病院群輪番制に参加
脳卒中	—	災害医療	<ul style="list-style-type: none"> 神戸市災害対応病院
心筋梗塞	<ul style="list-style-type: none"> 心臓カテーテル治療を実施 	周産期医療	<ul style="list-style-type: none"> 地域周産期母子医療センター NICU 9床
糖尿病	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病内科にて外来対応 	小児医療	<ul style="list-style-type: none"> 小児 2次救急
精神疾患	—	へき地医療	—

新興感染症対応	<ul style="list-style-type: none"> 発熱外来対応 新型コロナウイルス専用病床 8床 感染管理認定看護師 2名体制による対応
---------	---

表 2-4 済生会兵庫県病院の地域医療構想における役割

地域において今後担うべき役割	継続的に、広域を対象とした良質の周産期医療を提供することにより公的病院としての責務を果たしつつ、地域の中核病院として専門的・総合的な診断治療を行うとともに、断らない救急医療を行い地域の急性期医療を担っていく。
今後持つべき病床機能	地域周産期母子医療センターの高度急性期病床(27床)、地域の中核病院としての責務を果たすための急性期病床(185床)、サブアキュートの受け入れとしての地域包括ケア病棟(56床)※を維持していく。
その他見直すべき点	社会福祉法人恩賜財団済生会は、医療だけではなく介護・福祉施設を有することから、医療・介護・福祉施設の関係者との連携を強化して、地域包括ケアシステムの構築に積極的に関与する。

3. 三田市民病院の現状

(1) 三田市民病院の概要

表 3-1 三田市民病院の概要

名称	三田市民病院
住所	三田市けやき台3丁目1番地1
病床数	300床(うちHCU7床)
診療科目・部門	内科、腎臓内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、眼科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、形成外科、産婦人科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科(19診療科)
職員数	455名(R3.4.1現在)
基本理念	良質な高度医療で、地域に安心をもたらします
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ① 「ハイレベルのチーム医療で患者さんを支えます」 ② 「救急医療を充実させ、中核病院の役割を果たします」 ③ 「急性期医療を担い、地域連携を推進します」 ④ 「経営基盤を強化し、病院機能を向上させていきます」 ⑤ 「高い技術と倫理観をもった医療人を育成します」

図 3-1 三田市民病院の外観



表 3-2 三田市民病院の沿革

年月	概要
昭和 24 年 12 月	三田町立診療所として発足
昭和 33 年 7 月	三田市民病院と改称
平成 7 年 5 月	現在の場所で三田市民病院開院(許可病床 300 床)
平成 7 年 6 月	救急医療機関告示認定
平成 16 年 4 月	基幹型臨床研修病院指定
平成 16 年 5 月	増築棟完成(3階救急重症病棟をオープンし7床移設)
平成 19 年 4 月	1病棟閉鎖(看護師不足による)
平成 21 年 7 月	地方公営企業法全部適用
平成 23 年 7 月	閉鎖病棟再開(300床の稼働再開)
平成 24 年 11 月	地域医療支援病院の承認
平成 29 年 2 月	手術支援ロボット、ダヴィンチ Xi を導入
平成 29 年 3 月	三田市民病院改革プラン策定

(2) 三田市民病院の入院患者・外来患者の居住地

図 3-2 入院患者居住地の内訳

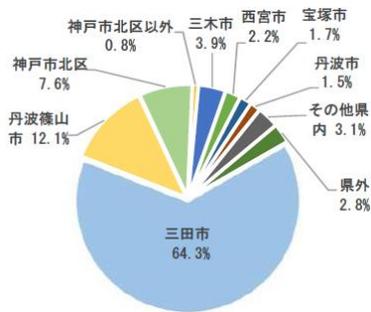


図 3-3 市域別入院患者数

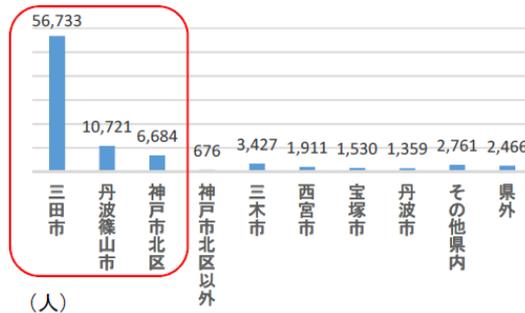


図 3-4 外来患者居住地の内訳

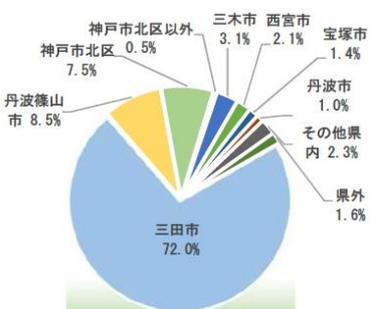


図 3-5 市域別外来患者数



(3) 三田市民病院の経営状況と主な診療状況の推移

図 3-6 経常収支・経常収支比率の推移

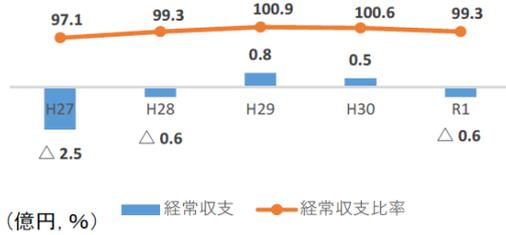


図 3-7 収益と費用の推移

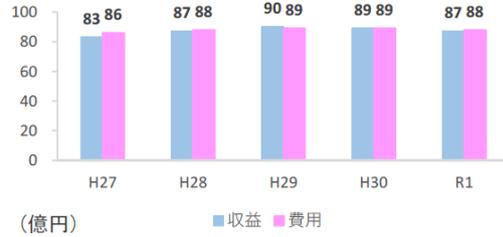


図 3-8 入院単価の推移

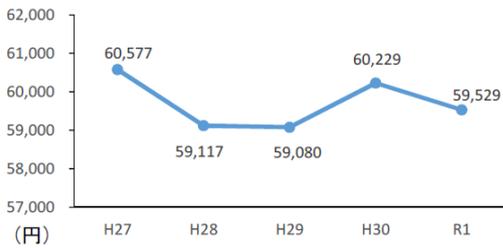


図 3-9 外来単価の推移



図 3-10 新入院患者数の推移

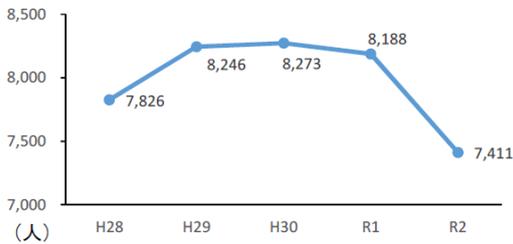


図 3-11 延べ入院患者数の推移

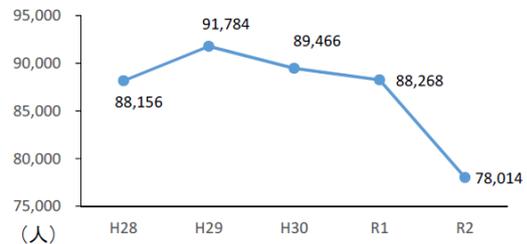


図 3-12 病床利用率の推移



図 3-13 平均在院日数の推移

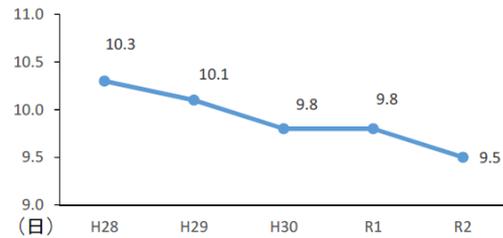


図 3-14 外来初診患者数の推移

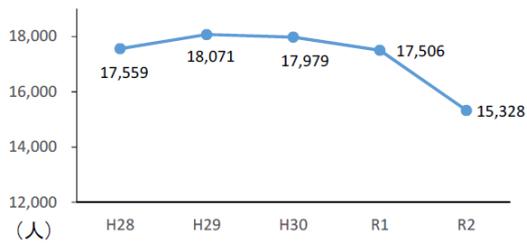


図 3-15 延外来患者数の推移

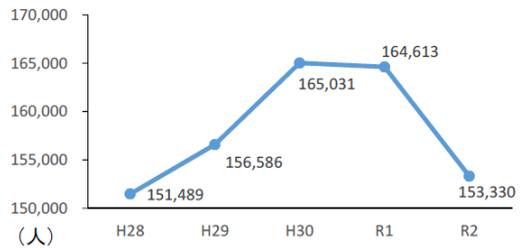


図 3-16 紹介率の推移

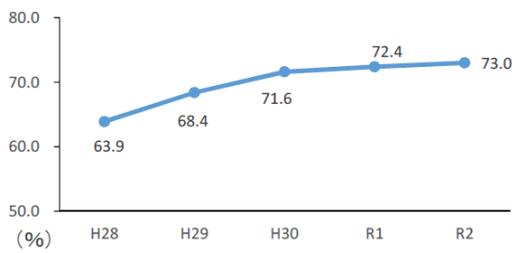


図 3-17 逆紹介率の推移

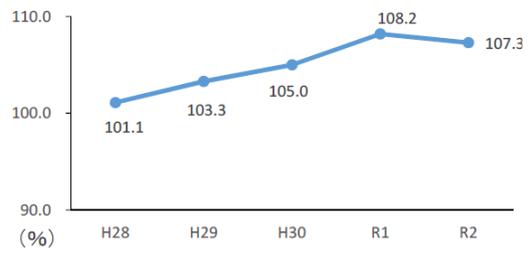


図 3-18 救急患者延数の推移

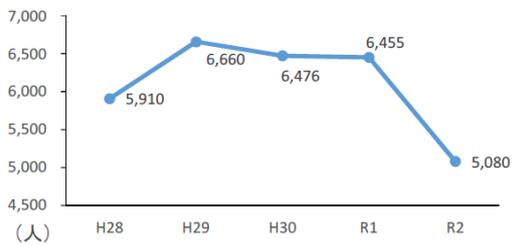


図 3-19 救急車搬送受入件数の推移

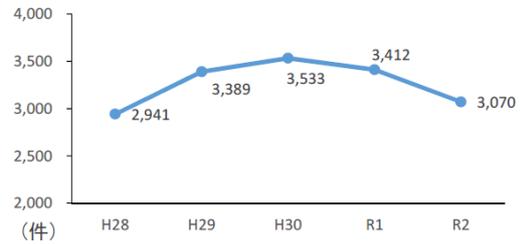


図 3-20 救急車応需率の推移

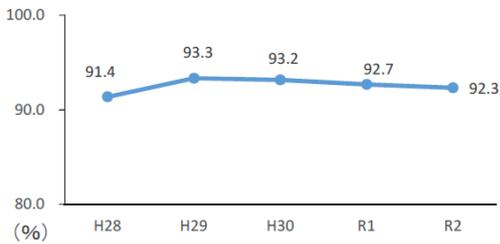


図 3-21 手術件数の推移

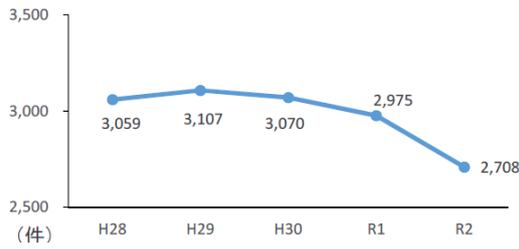


図 3-22 分娩件数の推移

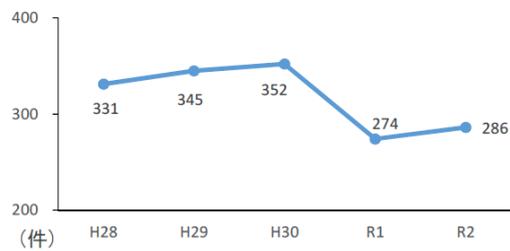


図 3-23 医師数の推移

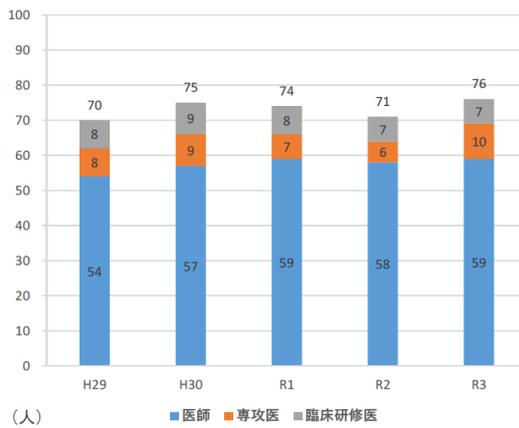
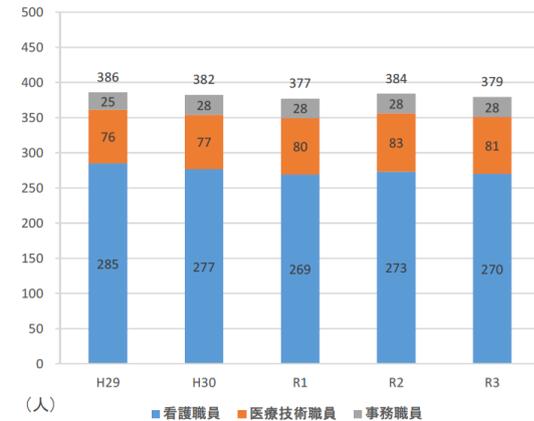


図 3-24 職員数（医師以外）の推移



※医師数、職員数は各年度 4 月 1 日現在の数値。非常勤職員は含まない。

(4) 三田市民病院の政策医療における役割

表 3-3 5 疾病 5 事業等への対応

5 疾病		5 事業	
がん	<ul style="list-style-type: none"> 内視鏡センター設置 外来化学療法室設置 放射線治療装置による治療 前立腺がん全摘術に対する ダヴィンチ手術を実施 	救急医療	<ul style="list-style-type: none"> 救急告示病院
脳卒中	<ul style="list-style-type: none"> 血栓溶解療法を実施 	災害医療	阪神北圏域災害時保健医療マニュアルへの対応
心筋梗塞	<ul style="list-style-type: none"> 心臓センター設置 カテーテル検査・治療を実施 	周産期医療	兵庫県周産期医療協力病院 (周産期医療圏域における地域周産期母子医療センターは済生会兵庫県病院)
糖尿病	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病専門外来を設置 	小児医療	アレルギー外来、発達相談外来、 神経・発達外来の専門外来を設置
精神疾患	—	へき地医療	—

新興感染症対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帰国者・接触者外来開設 ・ 新型コロナウイルス専用病床 11 床 ・ 感染管理認定看護師 2 名体制による対応
---------	---

表 3-4 三田市民病院の地域医療構想における役割

地域において今後担うべき役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高度な専門医療と救急医療を中心とした急性期病院としての役割を担い住民に安心・安全な医療提供体制を確保し、地域医療に貢献していくことを目指して、医療の充実に努める。 ・ 医師会や診療所等との医療連携体制を構築し、円滑な推進を図る。 ・ 小児医療・周産期医療は、済生会兵庫県病院との医療連携の推進を図る。 ・ 慢性期医療、回復期医療は、兵庫中央病院、さんだりハビリテーション病院、ささやま医療センター等、関連圏域も含めた医療連携の推進を図る。
今後持つべき病床機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 次から 2.5 次の救急医療を先導的な役割として担う地域の中核病院として、高度急性期及び急性期を中心とした医療機能の向上を図る。
その他見直すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師や看護師等の医療人材確保による地域医療の確保、経営の安定化 ・ 病院経営の合理化や組織体制の見直し

4. 新生物・脳卒中・心疾患および政策的医療への対応

(1) 新生物 (がん)

図 4-1 地域完結率 (国民健康保険及び後期高齢者保健受診患者数の割合)

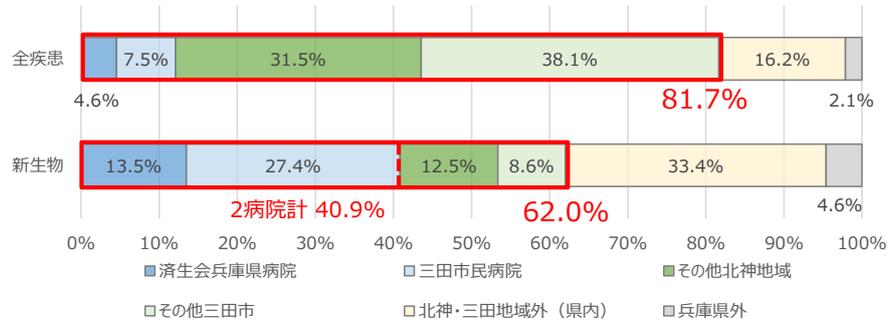
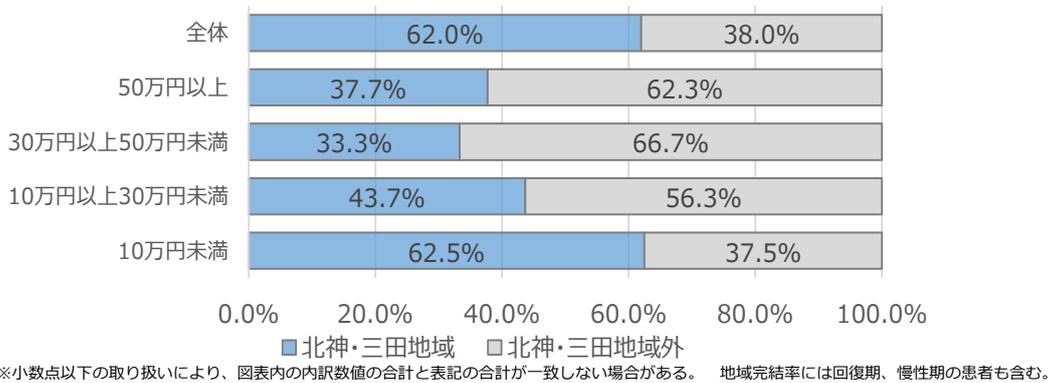
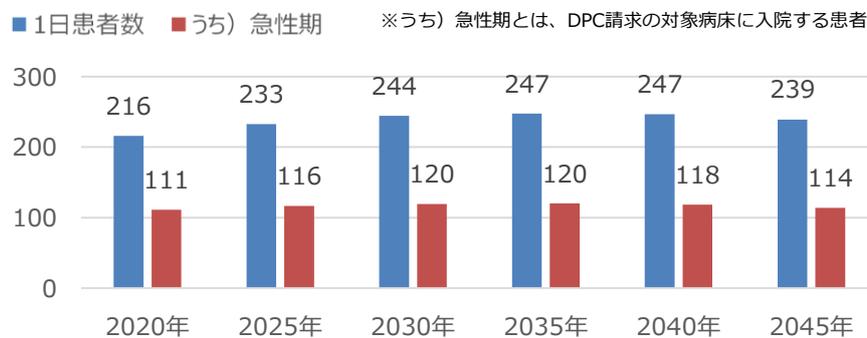


図 4-2 レセプト単価の価格帯別地域完結率



出所：神戸市・三田市国保・後期高齢者データ(2020年度分)

図 4-3 将来推計需要



出所：厚生労働省、患者調査(H29)における受療率および第4回NDBオープンデータ、DPC退院患者調査より推計した受療率に北神・三田地域の将来推計人口を掛け合わせて算出 ※推計値における小数点以下は四捨五入をしている

(2) 脳卒中

図 4-4 地域完結率 (国民健康保険及び後期高齢者保健受診患者数の割合)

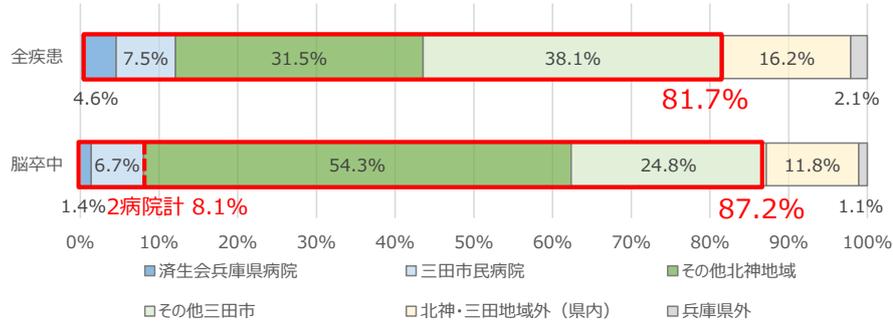


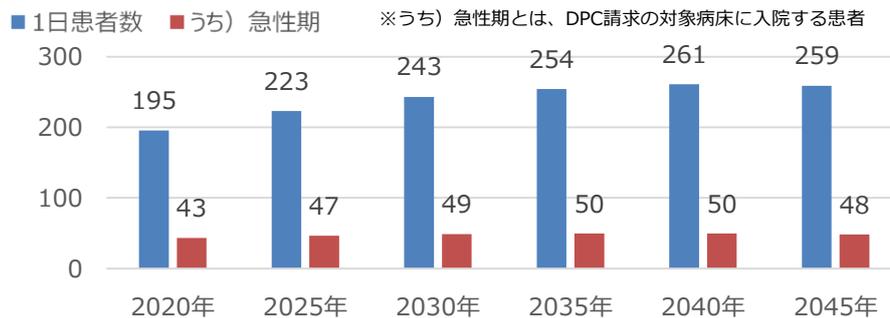
図 4-5 レセプト単価の価格帯別地域完結率



※小数点以下の取り扱いにより、図表内の内訳数値の合計と表記の合計が一致しない場合がある。地域完結率には回復期、慢性期の患者も含む。

出所：神戸市・三田市国保・後期高齢者データ(2020年度分)

図 4-6 将来推計需要



出所：厚生労働省、患者調査(H29)における受療率および第4回NDBオープンデータ、DPC退院患者調査より推計した受療率に北神・三田地域の将来推計人口を掛け合わせて算出 ※推計値における小数点以下は四捨五入をしている

(3) 心疾患

図 4-7 地域完結率（国民健康保険及び後期高齢者保健受診患者数の割合）

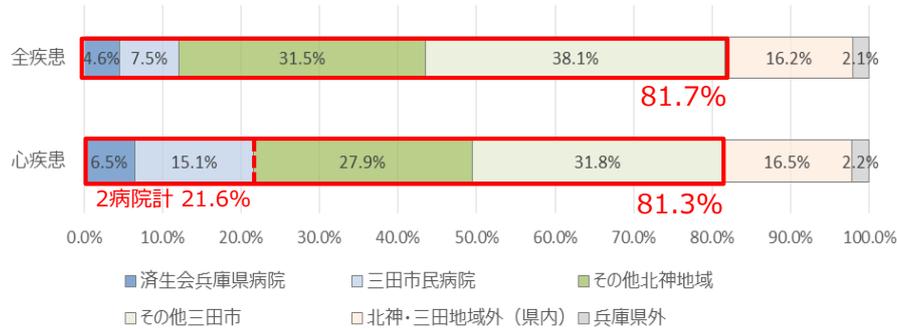
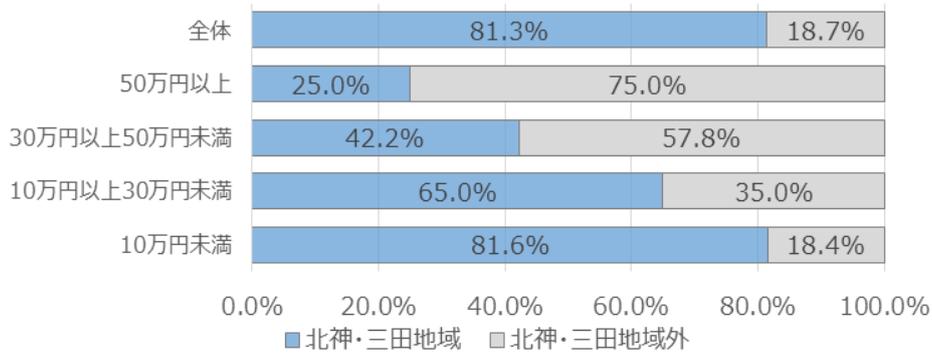


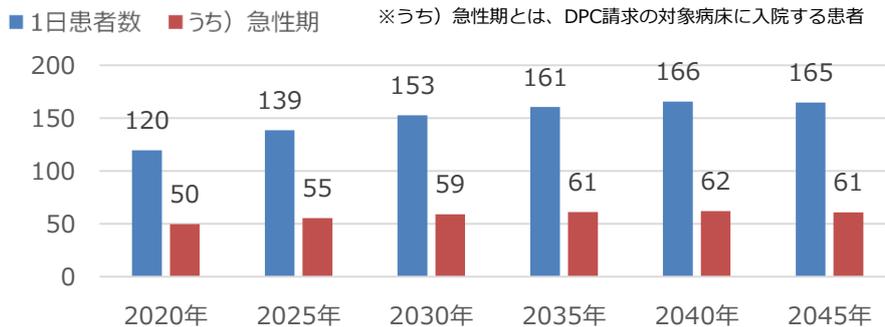
図 4-8 レセプト単価の価格帯別地域完結率



※小数点以下の取り扱いにより、図表内の内訳数値の合計と表記の合計が一致しない場合がある。 地域完結率には回復期、慢性期の患者も含む。

出所：神戸市・三田市国保・後期高齢者データ(2020 年度分)

図 4-9 将来推計需要



出所：厚生労働省、患者調査(H29)における受療率および第 4 回 NDB オープンデータ、DPC 退院患者調査より推計した受療率に北神三田地域の将来推計人口を掛け合わせて算出 ※推計値における小数点以下は四捨五入をしている

(4) 救急医療

図 4-10 神戸市消防（北神地域）による搬送先医療機関の所在地割合

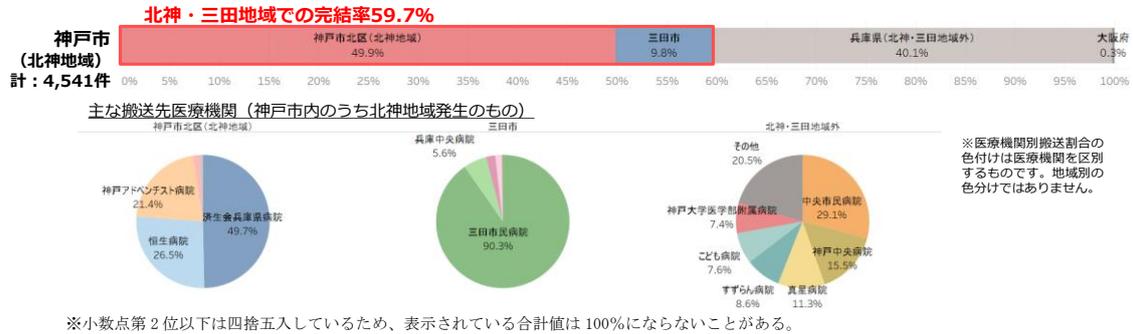
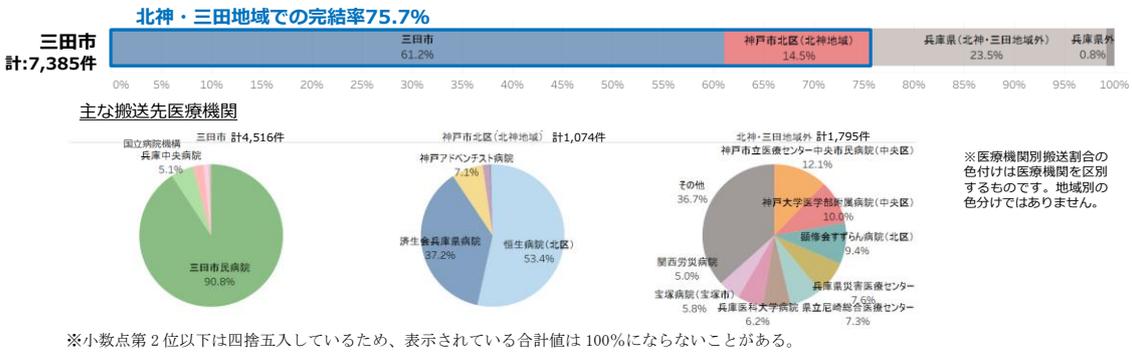
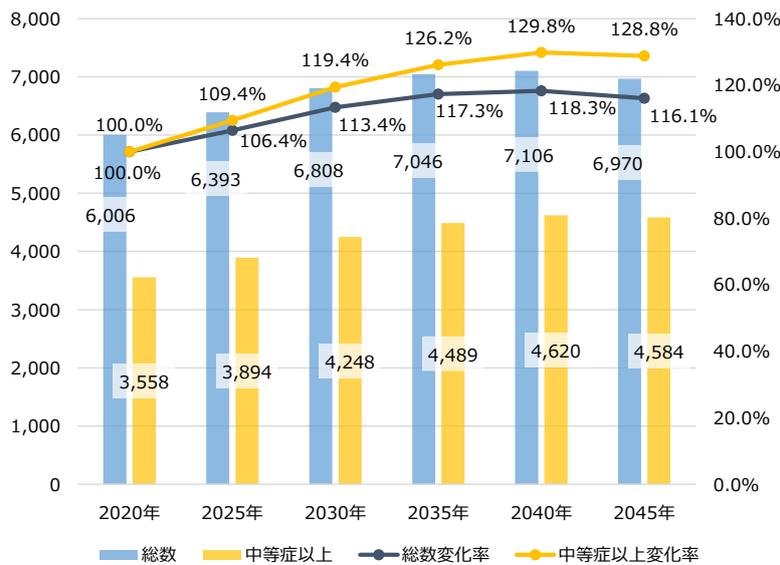


図 4-11 三田市消防による搬送先医療機関の所在地割合



出所: 出所: 神戸市北区救急搬送データ(2018.1~2021.1)、三田市救急搬送データ(2018~2021.3)

図 4-12 救急搬送件数の将来予測 (北神・三田地域)



出所: 神戸市・三田市救急搬送データ(2020年度)、神戸市・三田市の住民基本台帳における人口データ(2020年度)、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計データ(2018年推計)を用いて算出

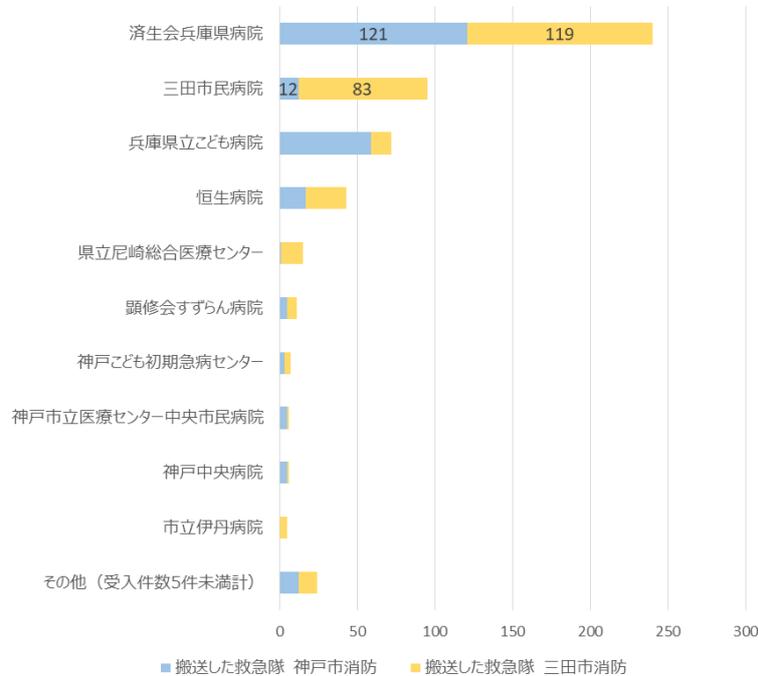
(5) 小児医療

図 4-13 済生会兵庫県病院・三田市民病院 15 歳未満の入院患者の住所地



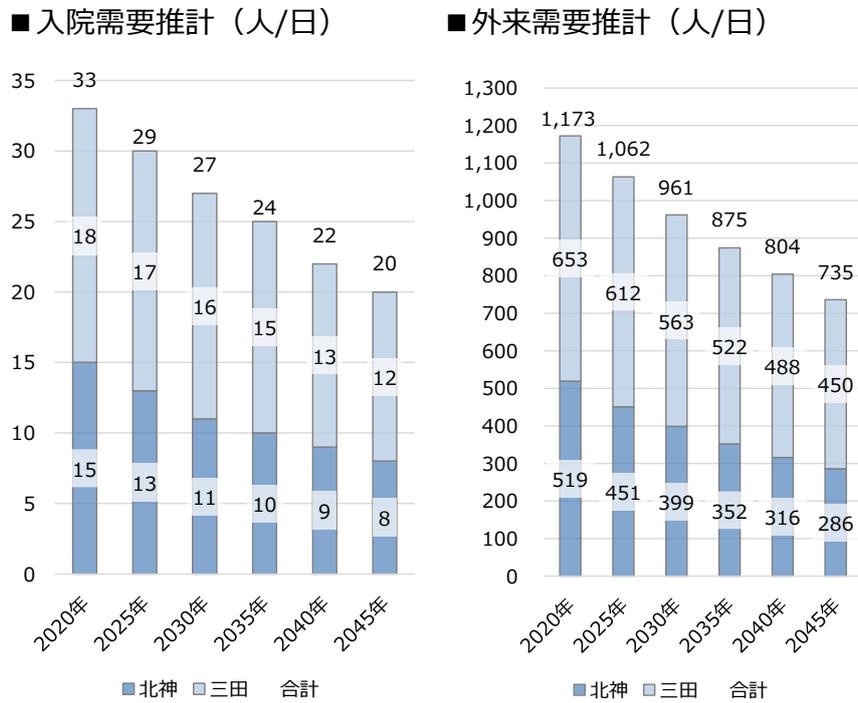
出所:両病院のDPCデータより集計 データ期間 2020年10月~2021年6月

図 4-14 15 歳未満の救急搬送先 (1 年間の件数)



出所:小児救急搬送記録データ期間 2020年2月~2021年1月(2市の情報項目が一致する1年間の数値)

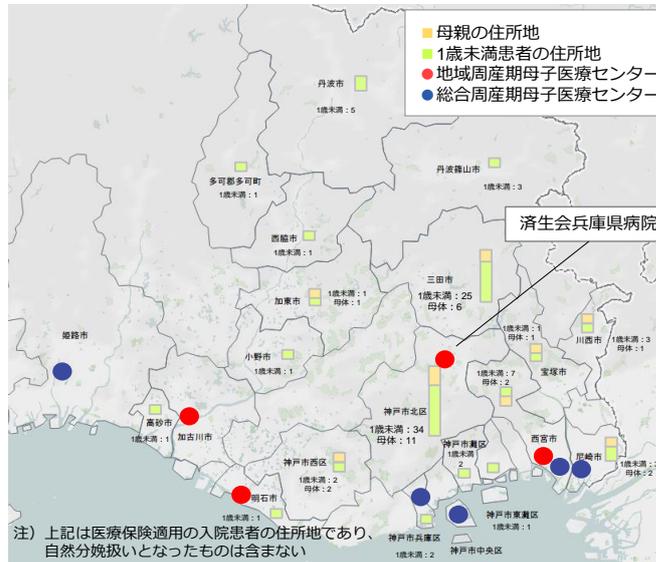
図 4-15 15 歳未満患者の将来推計需要



出所:厚生労働省、患者調査(H29)における15歳未満受療率及び表1-1推計将来人口より算出

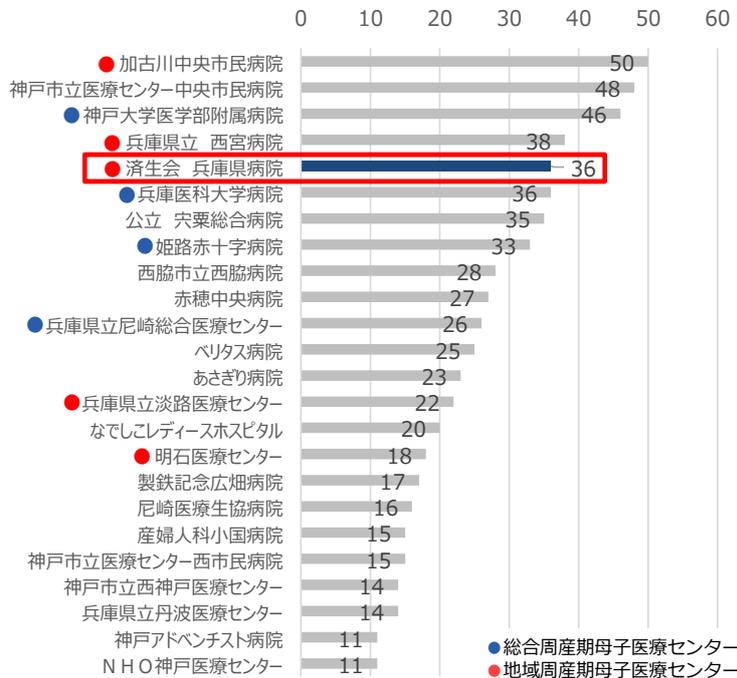
(6) 周産期医療

図 4-16 済生会兵庫県病院・三田市民病院 15 歳未満の入院患者の住所地



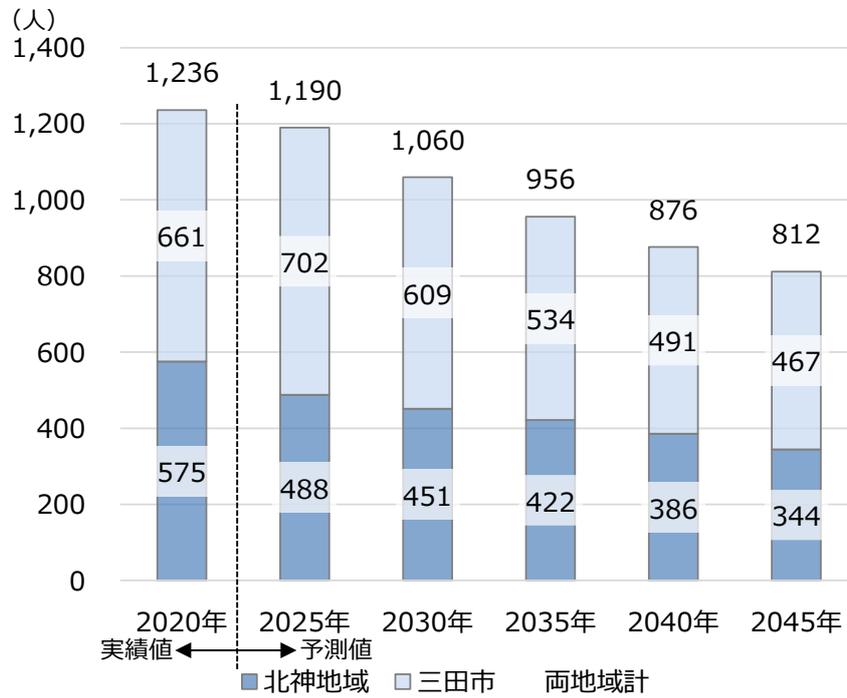
出所: 両病院の DPC データより集計 データ期間 2021 年 1 月～2021 年 3 月

図 4-17 早産・切迫早産への対応数



出所: 早産切迫早産への対応件数: 令和元年度 DPC 導入の影響評価に係る調査/周産期母子医療センターに関する情報: 兵庫県 HP 内 周産期母子医療センター及び周産期医療協力病院一覧(令和元年 10 月 1 日)

表 4-18 北神・三田地域の推計出生数（2020 年は実績値）



出所：人口動態統計 2015 年「母の年齢(5歳階級)・出生順位別にみた出生数」および国勢調査 2015 年から、年齢別女性人口に対する出生数の割合を算出し、北神・三田地域の年齢別女性人口推計に掛け合わせた。2020 年 0 歳人口は各市年齢別人口における実績値

(7) 災害医療

図 4-19 北神・三田地域の地理的な特徴と主要道路



表 4-1 近年の災害による交通遮断事例

道路	通行止めとなった年月
有馬街道	平成 26 年 8 月 (台風 11 号)
	平成 29 年 9 月 (台風 18 号)
国道 176 号	平成 25 年 9 月 (台風 18 号)
	平成 26 年 8 月 (台風 11 号)
	平成 30 年 7 月 (西日本豪雨災害)
中国自動車道	平成 30 年 7 月 (西日本豪雨災害)
北神戸線	平成 30 年 7 月 (西日本豪雨災害)

(8) 感染症対応

図 4-20 医療機関の病床規模別の新型コロナ患者受入実績の有無

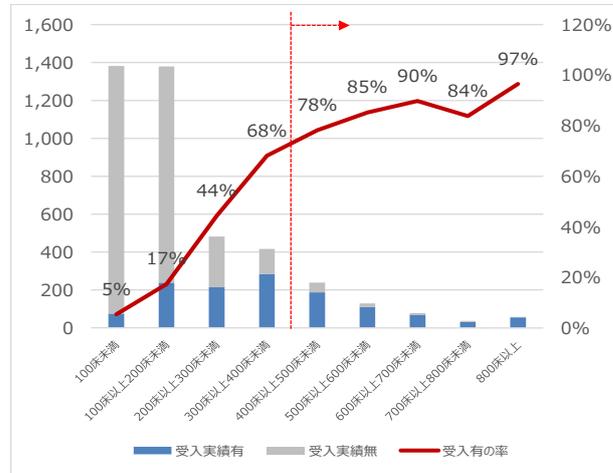
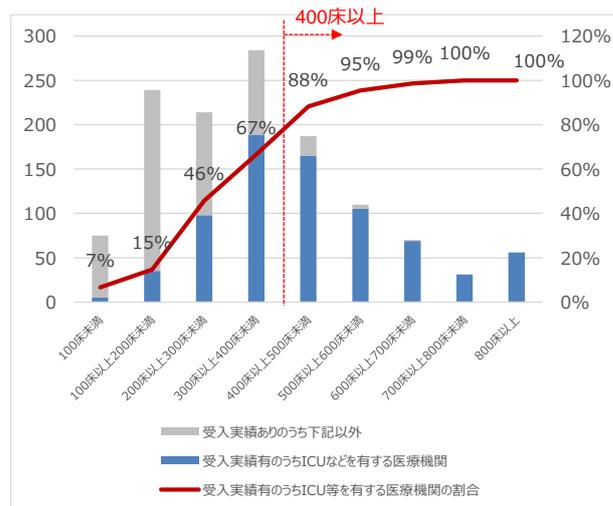


図 4-21 医療機関の病床規模別の新型コロナ患者受入実績有のうち ICU 等を有する医療機関



出所: 第 28 回地域医療構想に関するワーキンググループ令和 2 年 11 月 5 日より作成

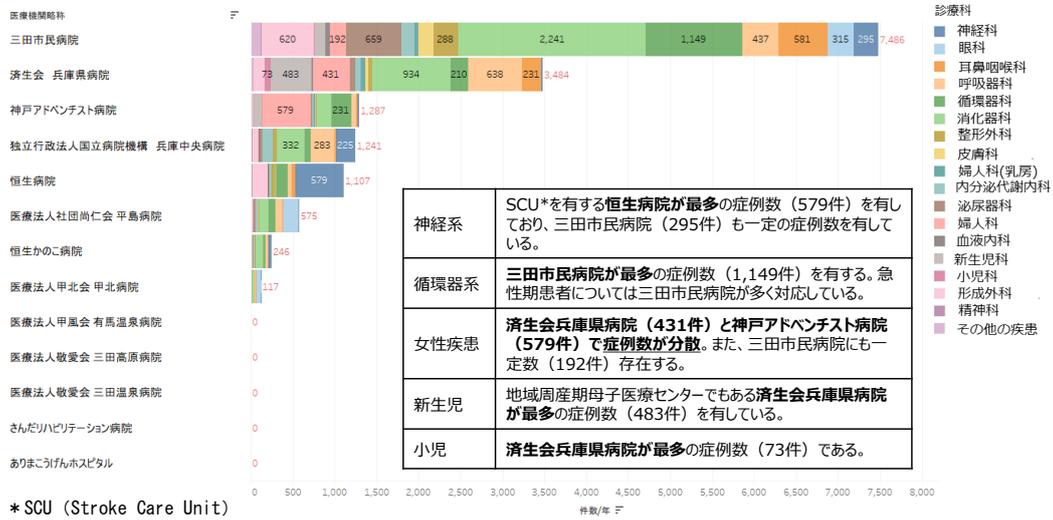
表 4-2 済生会兵庫県病院と三田市民病院の新型コロナウイルスへの対応 (再掲)

済生会兵庫県病院	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱外来対応 ・新型コロナウイルス専用病床 8 床 ・感染管理認定看護師 2 名体制による対応
三田市民病院	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国者・接触者外来開設 ・新型コロナウイルス専用病床 11 床 ・感染管理認定看護師 2 名体制による対応

表 4-3 北神・三田地域に必要な医療機能

5 疾病 5 事業等	医療機能
新生物	<ul style="list-style-type: none"> 高度な治療が必要な場合や希少がん（血液・子宮など）の場合は、がんの基幹病院と連携し、地域内で対応すべき主要な症例（大腸、肺、胃など）は地域完結率を高める。 低侵襲の放射線治療や手術、化学療法など集学的な治療が必要。
脳卒中	<ul style="list-style-type: none"> 現在、主となり対応している恒生病院と連携しながら、増加する医療需要への対応が必要。 連携により医療需要に対応するため、合併症にも対応できるよう脳神経外科を有する総合的な急性期病院となることが望ましい。
心疾患	<ul style="list-style-type: none"> 一刻を争う急性心筋梗塞等は現状以上に地域完結率を高めることが望ましい。 大動脈解離などの心臓疾患外科症例についても地域で対応できることが望ましい。
救急医療	<ul style="list-style-type: none"> 専門の診療科がないことや、医師不足による断り事例が発生しており、将来需要を踏まえ救急搬送の受け入れ体制の強化が必要。 地域で救急医療の完結率を上げ、地域内で安心して救急医療を受けられる体制を整備。 民間病院との連携を踏まえた対応が必要。
小児医療 周産期医療	<ul style="list-style-type: none"> 小児入院患者、新生児、ハイリスク分娩について広域的な役割を担う。 地域における小児・周産期における救急患者を受け入れる役割を担う。 周産期の合併症に対応するため総合的な診療能力が必要。 若い世代が安心して暮らすための地域において必要な医療機能であり、不採算であっても確保すべき。
災害医療	<ul style="list-style-type: none"> 主要道路の寸断や停電が生じて、地域で一定の期間、適切な医療対応ができる施設・設備を整備。 医療従事者の確保を含め、地域の民間病院との連携強化が必要。
新興感染症	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナなどの新興感染症は、公的病院として担うべき医療。 施設・設備、人材を確保し、地域で現状以上に対応すべき。

図 4-22 北神・三田地域における医療機関別の MDC（診療科）別の症例数



出所：令和元年度 DPC 導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」より作成 ※データ提出加算の届出を行っていない医療機関を除く

5. 再編統合を行うにあたり検討が必要な項目

(1) 医療法の特例について

図 5-1 圏域を跨ぐ病床移動について

【概要】
都道府県は、医療計画の公示後に以下に掲げる事情があるときは、病床過剰地域であっても、厚生労働大臣に協議し、その同意を得た上で、病院・診療所の開設・増床等に係る許可を行うことができる。

【特例事情】

- ・ 急激な人口の増加が見込まれること
- ・ 特定の疾患に罹患する者が異常に多くなること
- ・ 山間地、離島等の交通条件に恵まれない地域において、病院の病床又は診療所の療養病床の確保が必要になること
- ・ 過疎・病床偏在の場合であって、特定の要件を満たすこと
- ・ 二次医療圏を超えて病院等の移転が行われる場合であって、特定の要件を満たすこと
- ・ 複数の公的医療機関等を含めて医療機関の再編統合を行う場合（二次医療圏を越えて行う場合も含む。）であって、特定の要件を満たすこと
- ・ 医育機関に附属する病院等の病床であって、当該二次医療圏以外の区域において当該機能を補完することが著しく困難であること

公的医療機関等を含めた再編統合の場合

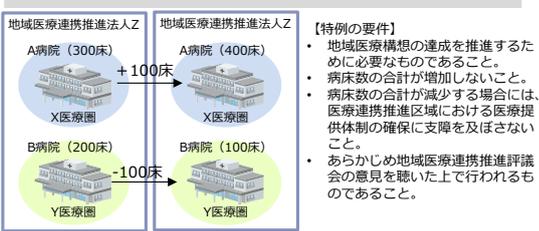


図 2: 医療法第30条の4第12項に基づく地域医療連携推進法人に係る特例

【概要】
都道府県は、医療計画の公示後に、地域医療連携推進法人の参加法人から病院・診療所の開設・増床等の許可申請があった場合、地域医療構想の達成を推進するために必要である等の要件を満たすものであれば、病床過剰地域であっても、許可を行うことができる（厚生労働大臣への協議は不要）。

【地域医療連携推進法人の概要】
地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供するため、病院等に係る業務の連携を推進するための方針（医療連携推進方針）を定め、医療連携推進業務を行う一般社団法人を都道府県知事が認定（医療連携推進認定）する制度。地域医療連携推進法人には、介護事業等を実施する非営利法人も参加することができ、介護との連携も図りながら、地域医療構想の達成及び地域包括ケアシステムの構築に資する役割を果たすことが期待されている。

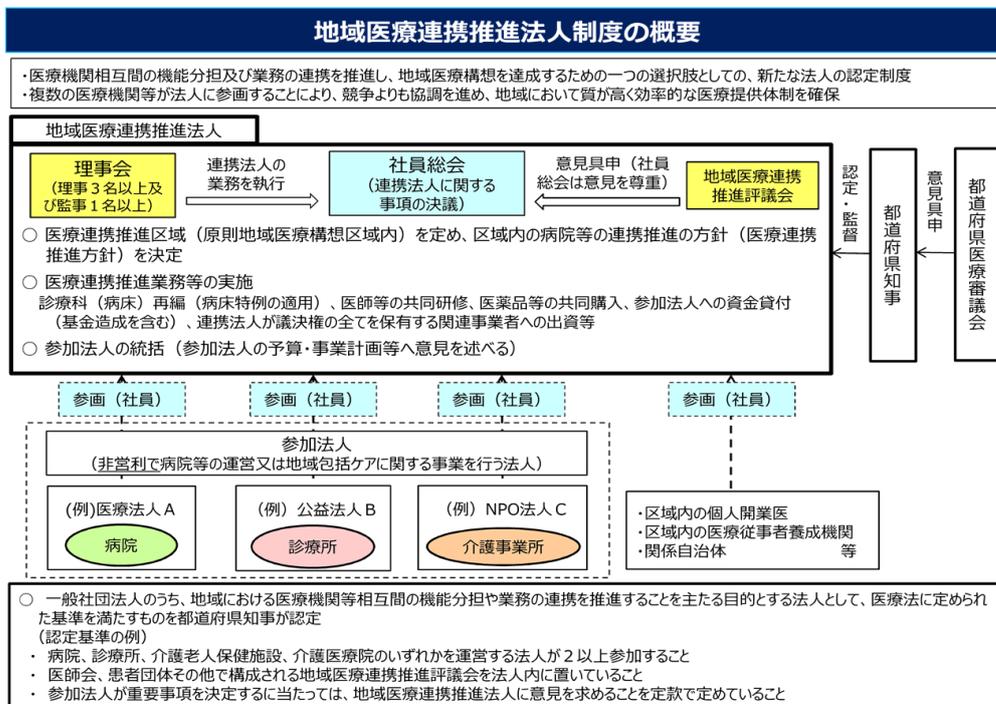
地域医療連携推進法人の場合



出所: 医療法(昭和 23 年法律第 205 号)、医療法施行令(昭和 23 年政令第 326 号)、医療法施行規則(昭和 23 年厚生省令第 50 号)、厚生労働省課長通知(平成 10 年 7 月 27 日指第 45 号)、局長通知(昭和 61 年 8 月 30 日健政計第 29 号)を参考に取まとめ

(2) 地域医療連携推進法人について

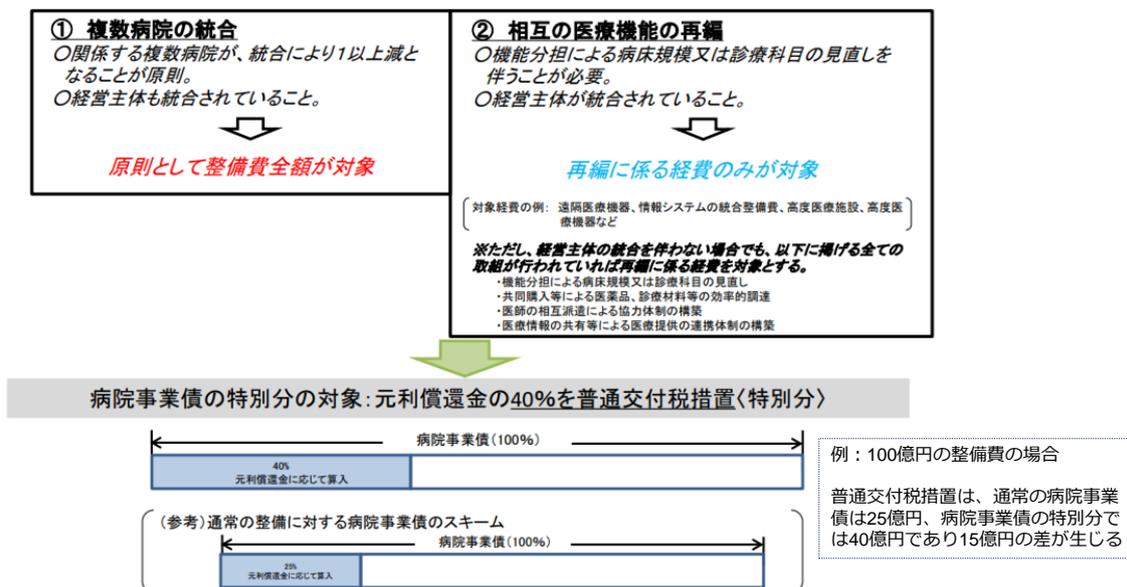
図 5-2 地域医療連携推進法人について



出所: 厚生労働省のホームページより

(3) 病院事業債（特別分）〔再編ネットワーク債〕について

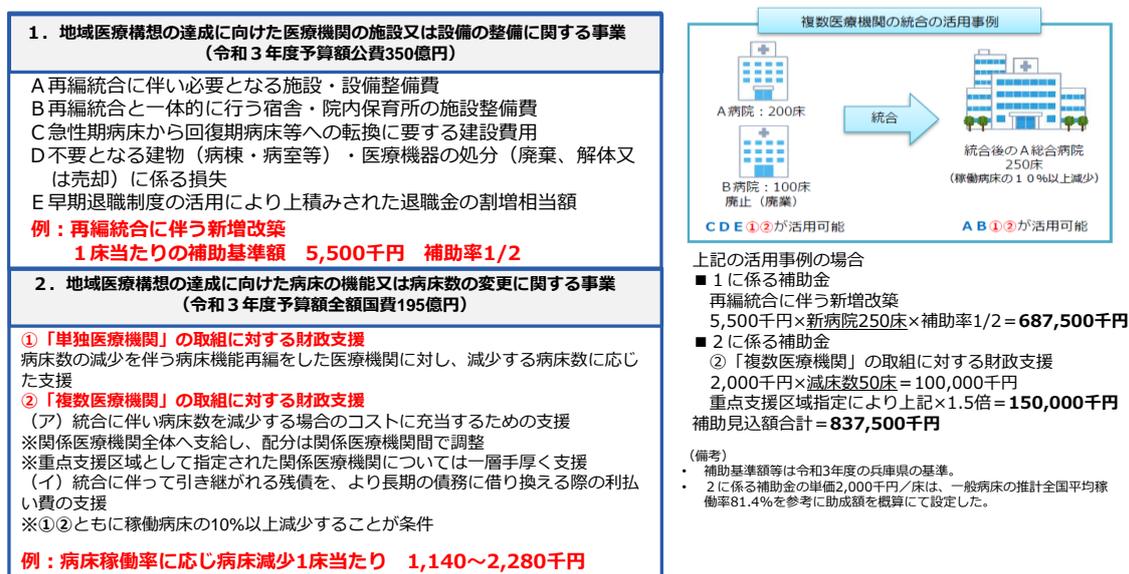
図 5-3 病院事業債（特別分）〔再編ネットワーク債〕について



出所：総務省『公立病院改革』を参考に作成

(4) 地域医療介護総合確保基金について

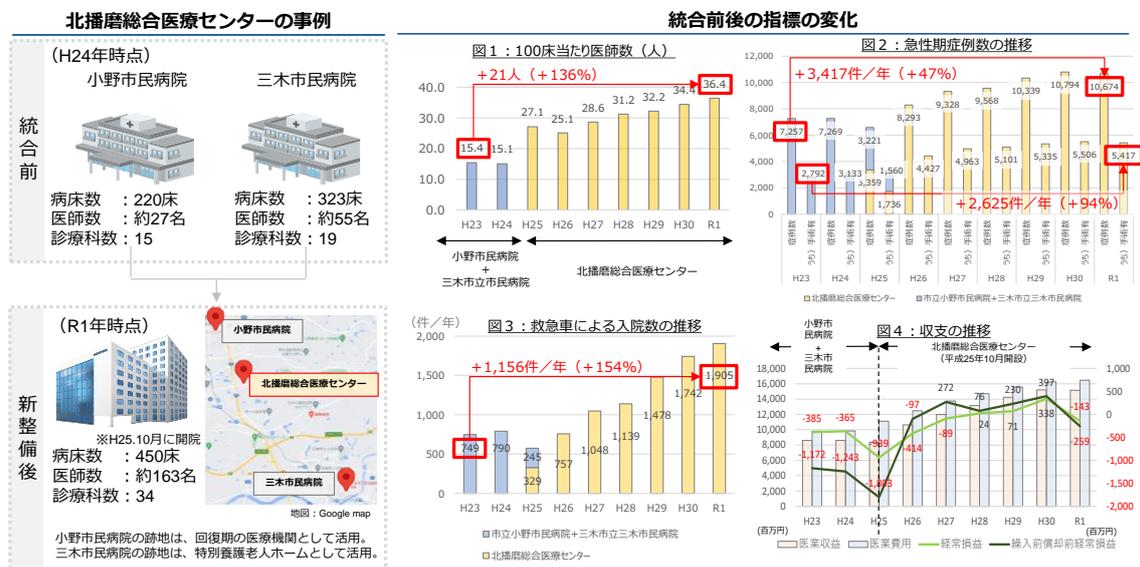
図 5-4 地域医療介護総合確保基金について



出所：厚生労働省ホームページ医療計画に係る都道府県職員研修 令和3年8月13日(金)開催 (1)医療計画、地域医療構想、医師偏在対策についておよび兵庫県ホームページを参考に作成。備考欄における病床稼働率は令和元(2019)年医療施設(動態)調査・病院報告の概況の数値を参考に推計。

(5) 統合事例：北播磨総合医療センターについて

図5-5 統合前後の概要と主な指標の変化



出所: 医師数及び収支の推移 総務省 公営企業年鑑より作成(※医師数は公営企業年鑑の100床当たり医師数から計算) 救急車による入院及び症例数の推移 厚生労働省 DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」より作成

表5-1 統合前後の診療科編成の変化

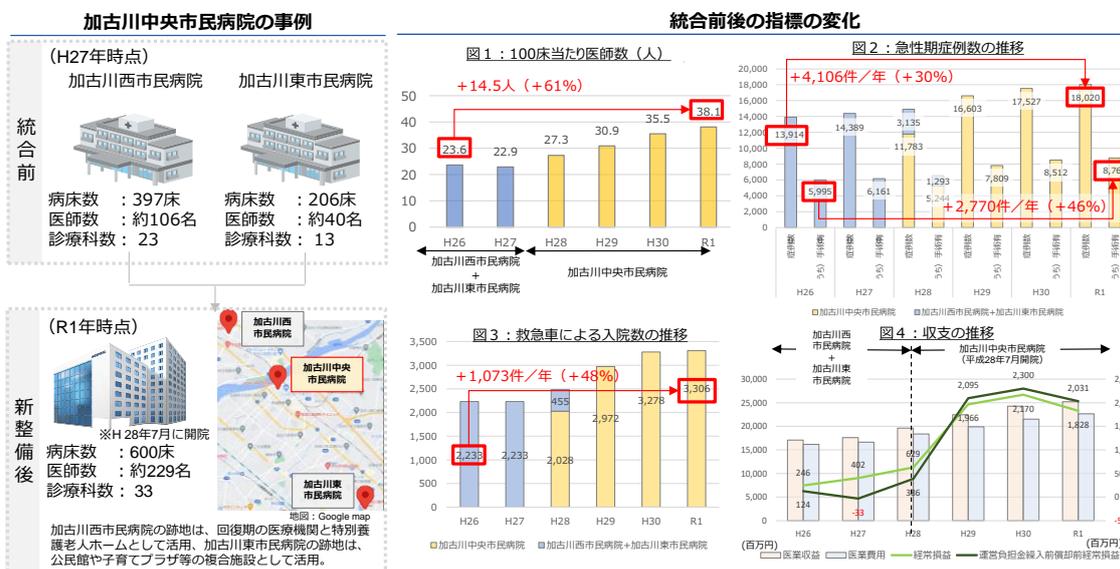
診療科	三木市民病院①	小野市民病院②	①+②計	北播磨総合医療センター
内科	○	○	○	○
総合内科				○
老年内科				○
消化器科/消化器内科	○	○	○	○
循環器科/循環器内科	○	○	○	○
腎臓内科				○
糖尿病・内分泌内科				○
神経内科/脳神経内科	○	○	○	○
呼吸器科/呼吸器内科	○	○	○	○
血液・腫瘍内科				○
緩和ケア内科				○
リウマチ・膠原病内科				○
ペインクリニック内科				○
外科	○	○	○	○
整形外科	○	○	○	○
脳神経外科	○		○	○
消化器外科				○
呼吸器外科				○
形成外科		○	○	○
心臓血管外科	○		○	○
乳腺外科				○
産婦人科	○		○	○
小児科	○	○	○	○
小児外科		○	○	○
麻酔科	○		○	○
放射線科/放射線診断科	○	○	○	○
放射線治療科				○
病理診断科				○
皮膚科	○		○	○
泌尿器科	○	○	○	○
耳鼻咽喉科/耳鼻咽喉・頭頸部外科	○	○	○	○
眼科	○		○	○
リハビリテーション科	○	○	○	○
救急科				○
精神科/精神神経科	○		○	○
歯科/口腔外科				○
診療科数	19	15	21	34

※/がある場合、左：三木市民病院および小野市民病院の標榜診療科、右：北播磨総合医療センターの標榜診療科

出所: 三木市民病院平成22年時点(公立病院改革プラン)、小野市民病院は平成19年時点(小野市加東市医師会ホームページ) 北播磨総合医療センターは令和3年時点(北播磨総合医療センターホームページ)

(6) 統合事例：加古川中央市民病院について

図 5-6 統合前後の概要と主な指標の変化



出所：医師数及び収支の推移 総務省 公営企業年鑑より作成(※医師数は公営企業年鑑の100床当たり医師数から計算)救急車による入院及び症例数の推移 厚生労働省 DPC 導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」より作成

表 5-2 統合前後の診療科編成の変化

診療科	加古川西市民病院①	加古川東市民病院②	①+②計	加古川中央市民病院
内科	○	○	○	○
総合内科/総合診療科				○
消化器内科	○	○	○	○
循環器内科	○	○	○	○
腎臓内科				○
糖尿病・代謝内科				○
脳神経内科				○
呼吸器内科	○		○	○
腫瘍・血液内科				○
血液内科	○		○	
腫瘍内科	○		○	
リウマチ科/リウマチ・膠原病内科	○		○	○
外科	○	○	○	○
整形外科	○	○	○	○
脳神経外科	○	○	○	○
消化器外科				○
呼吸器外科				○
形成外科		○	○	○
心臓血管外科		○	○	○
乳腺外科				○
産婦人科	○	○	○	○
小児科	○	○	○	○
小児循環器内科				○
小児外科	○		○	○
麻酔科	○	○	○	○
放射線治療科/放射線診断・IVR科	○	○	○	○
病理診断科	○		○	○
皮膚科	○		○	○
泌尿器科	○		○	○
耳鼻咽喉科	○		○	○
眼科	○		○	○
リハビリテーション科		○	○	○
救急科	○		○	○
精神科/精神神経科	○		○	○
歯科/歯科口腔外科		○	○	○
診療科数	23	13	26	33

出所：関係者へのヒアリングにより資料作成
 加古川西市民病院および加古川東市民病院は平成27年時点。加古川中央市民病院は令和3年時点。

(7) 2病院の患者の通院手段について

図 5-7 済生会兵庫県病院の患者の通院手段

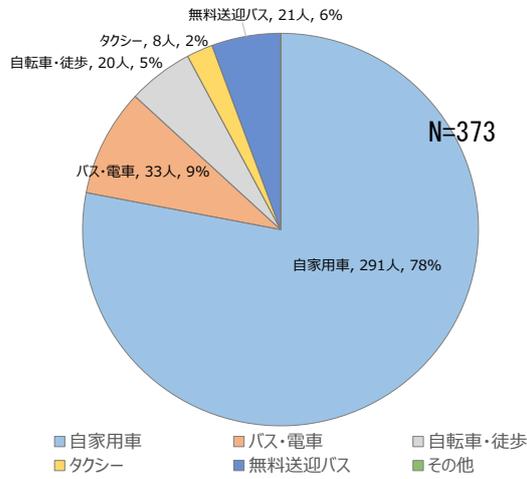
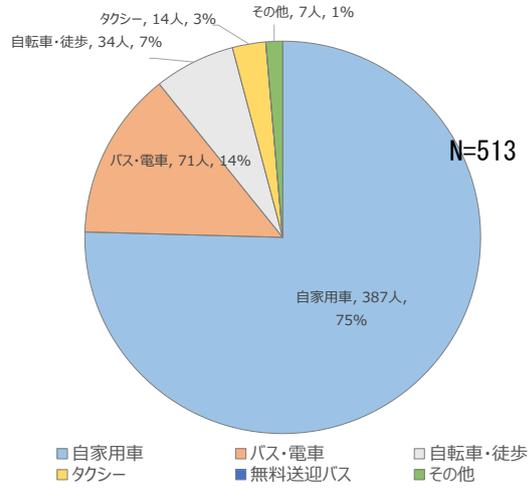


図 5-8 三田市民病院の患者の通院手段

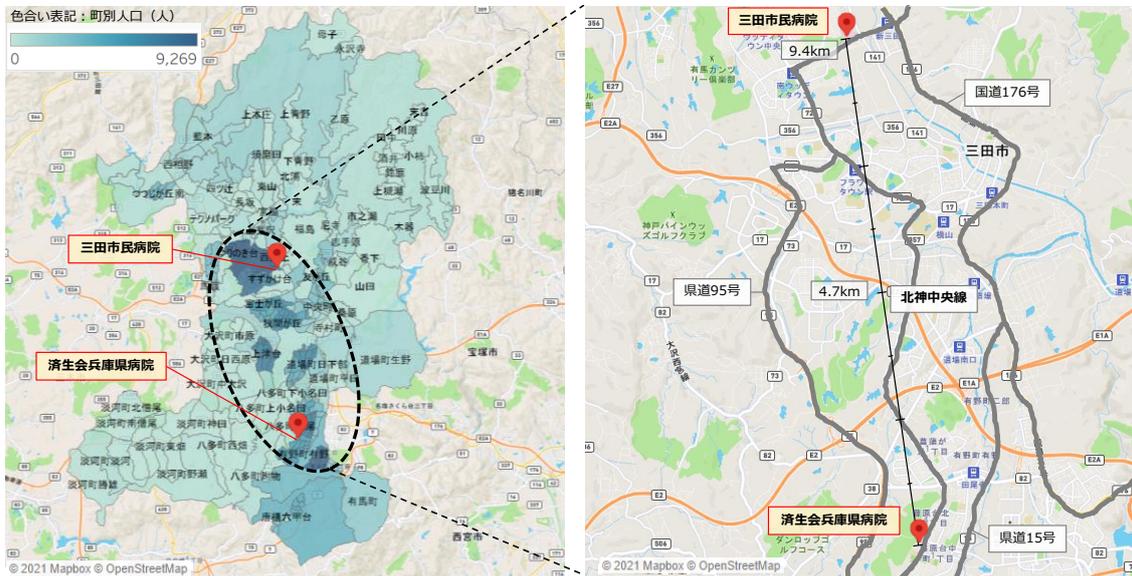


出所:両病院患者アンケート結果より 済生会兵庫県病院 2021年7月 三田市民病院 2021年12月にそれぞれ実施

(8) 北神・三田地域の地理的状況

図 5-9 北神・三田地域の町別人口分布と主要道路

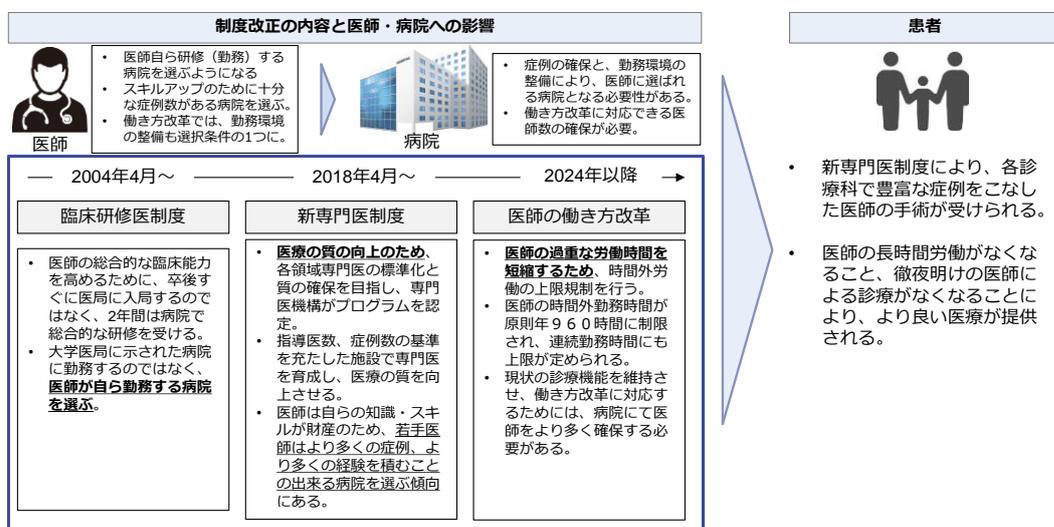
※主要道路地図は済生会県病院から三田市民病院近辺のみ表示



出所:左図町別人口 総務省統計局(E-stat)小地域(町丁・字等別)国勢調査結果(2015)より作成

(9) 医師確保に関する制度動向について

図 5-10 臨床研修医制度、新専門医制度、医師の働き方改革について



出所: 出所: 厚生労働省医療審議会 医師分科会 医師専門研修部会 令和元年度 第1回資料および「医師の働き方改革に関する検討会報告書」(2019. 3. 29)を参考に作成